



六 自由民主党 絆の会通信

令和4年特別号 VOL.32

誇れる吹田を次世代へ

子育て・防犯防災・地域活性化
吹田市議会議員 沢田なおきの活動報告

祝 第1回吹田だんじり祭開催!

開催までの3年間の軌跡

1. 旧吹田まつりの終焉

令和元年夏までは、JR吹田駅周辺、江坂、千里南公園の3会場で行われていた旧吹田まつりの中のパレードで曳行されていましたが、旧吹田まつりは第50回で幕を閉じ、現在は、「すいたフェスタ」と名前を変えて万博に移転しました。コロナの影響で令和2年、3年は中止となり、今年の9月4日に開催された「すいたフェスタ」が第1回目となります。たまに誤解されるのですが、旧吹田まつりの後継まつりは「すいたフェスタ」であり、今回の吹田だんじり祭は完全に新しい地域の祭となります。旧吹田まつりが万博に移転したことで、約3年前に六地蔵、神境町、都呂須町、西奥町、浜の堂、川面町の6基のだんじりの曳行の機会が完全に無くなってしまいました。

2. 吹田だんじり議連の結成

何とか江戸の天保年間から続く、吹田だんじりの伝統文化を次世代の子供たちに残したい、自分達の代で途絶えさせたくない、地域の賑わいを維持したい、そういう想いから、超党派による「だんじり議連」(自民、公明、維新、共産)を令和元年秋に結成、会長の大役を沢田が拝命しました。その後、だんじり実行委員会にも加わり、地域の皆様と共に開催に向けて準備を進めてきました。



吹田市議会議員(2期)

沢田なおき

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com

連絡事務所 T564-0022 吹田市末広町2-9

連絡先 080-6118-0391(直通) FAX 06-7708-7966

3. コロナの影響で2年連続中止

令和2年は商店街の皆さんと共同で実行委員会を立ち上げましたが、コロナの影響で中止。令和3年はだんじり実行委員会単独で開催を進めましたが、これもコロナの影響で中止。今年こそはという思いで、準備を重ねてきましたが、今年も開催日直前に大阪府の赤信号が出るなど厳しい感染状況となりました。ただ、イベントの自粛要請は出ていないことから、最大限の感染防止対策を講じたうえで実施することを、実行委員会で決定しました。

4. 地域の強力な後押し

これまでの市主催「吹田まつり」でのだんじり曳行は、準備から資金繰りまで大半が市や旧吹田まつりの実行委員会にお任せで、受け身の部分があったかと思います。今回は、祭りが行政の手から離れたことで、一から実行委員会を立ち上げ、予算もゼロからスタート。だんじり関係者で駆けずりまわり、必死に協賛金を募った結果、地域の企業団体個人の皆様の大きなお支えがあり、何とか曳行ができる目処が立ちました。



地車の伝統文化を守り
地域振興を図る議員連盟(通称 だんじり議連) 会長
吹田だんじり祭実行委員会、同小委員会 委員
吹田まつり復活実行委員会 役員
吹田市議会第78代副議長



5. 吹田だんじり祭の輪が日に日に大きく

曳行の目処は立ったものの5基のだんじりの曳行だけでは観客はあまり来ないのでないかという不安がありました。また祭りの日には夜店は欠かせないだろうということで、各商店街、吹田バル関係者、若手経営者、大和大学の学生さんにも声かけをして、同日同時時間帯に「何かイベントと一緒にできませんか。」と頼みました。

一早く、旭通り商店街が「夜店ランド」の実施を決定してください、また、吹田バル実行委員会も本来は秋に開催しているバルを「ミニバル」として24店舗限定で同日開催を決定してく



れました。令和4年の4月に入り、さんくす名店会が「吹田さんくす夏まつり! 2022」の開催を決定をされ、さらに私と若手経営者、大和大学の学生さんたちで「吹田まつり復活実行委員会」を結成し、JR吹田北口のメロード前で、「ダンスイベント-WADACHI-轍」の開催を決定しました。これにより、規模感としては、旧吹田まつりにかなり近づけることができました。その後も、近隣スーパーが子供向けの縁日を、また地域の飲食店がキッチンカーや店先でビールや焼き鳥を提供するなど、その輪は日を経につれ、広がっていきました。



6. 今後の課題と展望

吹田だんじり祭はマスコミ等が取り上げてくれたこともあり、市外からもかなりの観客が来てくれました。だんじりの上から2重3重に埋め尽くされた観客を見て、涙が出そうになりました。まだ正確な集計はできていませんが、5つの同時開催のイベントの観客を足すとかなりの賑わい効果があったでしょうし、様々な困難があった中、第1回目を無事に開催できたことが、来年に繋がるという意味でも大成功ではなかったかと思います。課題も多数あります。旧吹田まつりとの違いとして、錦通り商店街や旭通商店街の通行止めができなかったことで、商店街の夜店やイベントが限定的になりました。また、だんじりと観客の安全確保の面においても一定の道路規制は必要になります。ただ、市主催ならまだしも、一任意団体主催のお祭りですから、「通行止め」のハードルは非常に高く、いくつものハードルを越えなければ許可は下りません。私なりに、今後の進め方についてシミュレーションはしていますが、今の時点では何とも言えません。



7. 最後に

今回は、地域の企業、団体、自治会、学生さんたちの力が集結したからこそ、無事に開催できたと思っています。そして、より良い地域に愛される祭りにするには引き続き皆様の力が必要になってきます。ここからは私見ですが、今回、参加を見合せた川面町だんじり、金田町だんじりも来年は参画いただけけるよう、実行委員会で、全力でバックアップできたらと思います。吹田市有形民俗文化財である吹田の7基のだんじり全てが集結し、曳行することが実現できれば、これまで吹田だんじりの歴史と伝統文化を紡いできてくれた先人たちも喜んでくれると思いますし、まさに我々の目指すところでもあります。また、旧吹田まつりのように旭通商店街や錦通り商店街を歩行者天国にすることで、子供たちには非日常感が味わってもらい、郷土の原風景として記憶にとどめてほしいですし、また、それが地域愛の醸成や地域の絆を深めることに繋がれば幸いです。引き続き、地域の皆さんと力を合わせて、第1回からグレードアップした「第2回吹田だんじり祭」を開催できるよう微力ですが力を尽くしてまいります。最後になりましたが、この場を借りて、ご協賛ご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

*1 吹田だんじり祭、吹田ミニバル、ダンスイベント轍は、吹田市シティープロモーション促進補助金を一部活用して運営しています

*2 吹田さんくす夏まつり! 2022 は吹田市商店街等魅力向上促進事業補助金を一部活用して運営しています。

